

# Contact Zone 005

2012

コンタクト・ゾーン

Contact Zone  
「コンタクト・ゾーン」  
005

京都大学人文科学研究所  
人文学国際研究センター

発行日●2012年3月31日

発行人●田中雅一

発行所●京大文学部人文科学研究所

人文学国際研究センター

〒606-8501 京都市左京区吉田本町

TEL.075-753-6904

印刷所●共同印刷工業株式会社

## はじめに

- |     |  |                      |
|-----|--|----------------------|
| 1   | 領土、歴史、アイデンティティ<br>—鮮満観光と大日本帝国の形成                     | ケイト・マクナルド<br>(山本達也訳) |
| 19  | 動物と人間の接触領域における不可視の作用主<br>—狩猟採集民グイの談話分析から             | 菅原 和孝                |
| 62  | 移動する身体の〈ランドスケープ〉<br>—相互応答性・偶発性・歴史                    | 土井 清美                |
| 90  | 接触領域としてのアルパカ品質改良                                     | 佃 麻美                 |
| 108 | コンタクト・ゾーンにおける実践<br>—ニュージーランド・マオリの外ウー「モコ」と世界の「Tattoo」 | 秦 玲子                 |
| 124 | 境界線を浸食する「癒しの共同性」<br>—接触領域としての在日フィリピン人社会              | 日下 渉                 |
| 145 | 韓民主義運動における地下情報の発信<br>—越境的なキリスト者ネットワーク形成の背景と活動を中心に    | 李 美淑                 |
| 173 | 「危険」を消費する<br>—日本人バックパッカーが旅で経験するスリルの文化・社会的意味          | 大野 哲也                |
| 196 | 留まる人々の「自由」<br>—文化発信の拠点としてのハンセン病療養所                   | 有菌 真代                |
| 222 | 接触領域における身体に関する一考察<br>—酒造現場での日常的な実践の事例を通じて            | 岩谷 洋史                |
| 239 | 花柳界における芸者の変容<br>—「商売」と「仕事」ということばの使用に関する一考察           | 中岡 志保                |
| 257 | コンタクト・ゾーンにおいて現れる痛みで結ばれる身体<br>—女子プロレスラーとの練習の事例から      | 萩原 卓也                |
| 271 | 石原昌英・喜納育江・山城新編<br>書評・『沖繩・ハワイ<br>——コンタクト・ゾーンとしての島嶼』   | 栗山 新也<br>三田 牧        |
| 278 | 永田實聖著<br>書評・『トランスナショナル・フィリピン<br>人の民族誌』               | 長坂 格                 |
| 283 | 人文学国際研究センター活動報告                                      |                      |